

GO!GO!

小豆島ガール No.3

小豆島ガール 検索 <http://shimagirl.jp/>
企画・運営：癒しの空間小豆島物語プロジェクト

映画「八日目の蟬」ロケ地巡り・よくばりコース 2日目 (車利用 1泊2日)

海と、空と、雲と、光と、木と、花と、この小さな小豆島にはギュッときれいなものがいっぱい詰まっています。
恵理菜(薫)と希和子が幸せな時間を過ごした景色に触れながら、ゆっくりのんびり島巡り。自然と、心と体が癒されていくことに気づくはず!

私たちと一緒に小豆島ガールになりませんか?

小豆島の暮らしを楽しんでる女性、小豆島に来てくれる女性、小豆島ファンの女性、みんなのことです。

8:40 国民宿舎

たくさんのお出会いと発見を期待してシュッパーツ!

10:00 西ノ瀧

9:00 道の駅小豆島オリーブ公園

オリーブ公園 島ガールの過ごし方

- その1. ハートのオリーブの葉を見つけよう! 幸せになれるらしいよ。マル秘情報: 生垣のオリーブの木に生息してる割合高し。パウチ(100円)すれば、幸せ度UP!
- その2. 季節によって、さまざまな楽しみ方があります。何度も通いましょう。オリーブの花咲く頃、収穫の頃、オイル搾りの頃。おいしいイベントも盛りだくさん。オリーブ好きにはたまりません。



穏やかな風景が広がるオリーブ公園。風に揺れるオリーブの葉と瀬戸内海のコントラストが、本当にきれいなんです。

その3. オリーブソフトにハーブティ。オリーブ公園ならではのフレッシュな味を楽しみましょう。晴れた日には四国の山並みまで一望できます。

10:45 中山千枚田



ここは中山は日本の里山の雰囲気残る地域。伝統文化、農村歌舞伎と豊作を祝う行事「虫送り」のシーンが撮影されました。農村歌舞伎は、現在も地域の保存会の方の手によって、年に1回上演されています。「虫送り」は火手(ほて=竹のたいまつ)をかざした親子が、夕暮れのあぜ道を歩き、稲につく虫を追い払う伝統行事ですが、何年も行われていませんでした。しかし、映画では成島監督の強い希望で、島民がこの思いに応え、幻想的なシーンを再現しました。

中山千枚田 島ガールの過ごし方

- その1. 中山農村歌舞伎を鑑賞しましょう。(毎年10月上旬上演予定)
- その2. 棚田の間のあぜ道を散策。雄大な棚田を見上げたり、見下ろしたり。お勧め時期! 水が張られ、田植えが終わる5月中旬頃。きらきら光る水面と緑の苗がより一層美しい。
- その3. 棚田デリカフェ「こまめ食堂」で一休み。

西ノ瀧 島ガールの過ごし方

- その1. ご住職のお話に耳を傾けよう。自分を見つめ直す機会にしましょう。
- その2. 護摩行をしましょう。護摩の火の前で拝むことで、シンとした気持ちになります。
- その3. お堂の奥に龍水が湧き出ています。それを口に含みゴクリ。ボトル(100円)に水を汲み持ち帰ることもできます。



第四十二番札所西ノ瀧は、見晴らしがとてもいいお寺。潮の満ち引きで現れるエンジェルロードや対岸の高松市が見えます。

13:00 戸形崎

戸形崎 島ガールの過ごし方

- その1. 砂浜にお絵かきしてみよう。
- その2. 海に向かって叫んでみたり、跳んでみたり。思い思いに過ごしてみよう。
- その3. こいのぼりが優雅に泳ぐ様を見にこよう(4月上旬~5月上旬)



旧戸形小学校の目の前にある海。戸形崎。砂浜で貝殻を拾って遊んだり、恵理菜(薫)と希和子がギュッと抱き合って、穏やかな波の音を聞いたのもここです。海のある小学校って...ステキだな。休み時間は海で泳いだのかな。サッカーボールは波にさらわれたのかな。と想像は膨らみます。

11:30 カフェ忠左衛門

オリーブ農園の中にある、とってもいい雰囲気のカフェ。島の食材をたっぷり使ったランチをいただき、大満足!

定休日: 火曜日
利用時間: 11時~18時
Tel: 0879-75-0282

14:10 大部港

14:25 船で日生港へ約70分の旅

たくさんのお思い出を胸に小豆島をあとにする。恵理菜(薫)と希和子が幸せな時間を過ごした見ごたえたっぷりの島の風景。島の時間に癒されて、自然のパワーを存分に受けて、この島は誰にでもあったかい。優しく見守られてるから、明日からまたがんばれる気がする。

出発!!

【おススメ持ち物】
・カメラ
・きれいなものを感じる心

8:40 国民宿舎



9:00 道の駅小豆島オリーブ公園 9:40



10:00 西ノ瀧 10:30



10:45 中山千枚田 11:20



11:30 カフェ忠左衛門 12:30



13:00 戸形崎 13:30



14:10 大部港 14:25



到着!!
おつかれさま

「小豆島ガール紀行」の連載は、小豆島ガール運営メンバーが、「きれいなものを、2つね」をコンセプトにきれいなものがいっぱい詰まった小豆島や、島に住む女性たちの輝く日々をご紹介します。

写真提供: 小豆島ガール